



2016年 2月号



森の神様に会いに行こう

森には神様がいらっしゃいます。
数百年、時には千年以上もの
長き時間を、ただじっとそこにいて、
森を、いのちを、守りつづけてくれました。
さあ、みなさん森の神様に会いに行きましょう。

新城市の『仏頭岩(ぶつとういわ)と雲龍(うんりゅう)ガシ』をご紹介します。
巨大岩を眺めているとやさしい仏の顔に見えてくることから名付けられた仏頭岩。
その岩を守るように根付いている樹が雲龍ガシです。

幹周3.9m、樹高20m、樹齢200年～300年の旧作手村(現在は新城市)の
指定保護樹となっています。

仏頭岩にカシの樹が寄るように共存している
場所は、急な斜面の途中にありました。
そこで、雲龍ガシはしっかりと根を張り、
幹を支えています。その為か根がむき出
しになり、うねりの凄さが名前の通り、雲の
ような、龍のような姿に見えます。
根元がポッカリ空いている姿が、私には鯨
のようにも見えました。環境に順応して
生き続けるたくましさを感じられます。

(すぎうら)



【道案内】 国道301号線の道の駅「つくで手作り村」で曲がり(豊田方面からは右折、
豊川方面からは左折)、県道37号線となり、須山老人いこいの家を右折。
善福寺の手前、道なりの右手側のあぜ道を入った山麓にあります。

